



黒田 紀幸氏

経済産業省 製造産業局  
金属課長

▶講演概要

アルミニウムや銅などの金属素材は、私たちの身の回りにある多くの製品に使用されており、製造業における位置づけも非常に重要なものとなっています。講演では、金属産業の現状や製造業におけるポジションを紹介します。

▶略 歴

1995年通商産業省入省（現・経済産業省）。JETROウィーン事務所次長、内閣官房副長官補付企画官（経協インフラ戦略会議担当）、経済産業省防衛経済協力局貿易管理部安全保障貿易管理課長などを経て、2018年7月より現職



石原 美幸氏

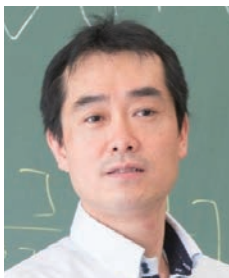
株式会社UACJ  
代表取締役社長 兼 社長執行役員

▶講演概要

非鉄金属材料は、鉄鋼材料などとともに私たちの生活や社会を支える重要な素材です。その一つであるアルミニウム材料は、輸送機器の高速化、熱エネルギーの制御あるいは生活の快適性向上に貢献しています。現在、アルミニウム産業でも持続可能な社会を目指し、地球温暖化や資源枯渇、あるいは少子高齢化等の課題に対しても取り組んでいます。本講演では、アルミニウム材料の特長であるリサイクル性や軽量性などを活かした製品用途やその素材の製造工程などを紹介します。さらに、地球環境問題を特に重視している自動車分野におけるアルミニウム材料の将来を展望します。

▶略 歴

1981年住友軽金属工業株式会社入社、2006年同社生産本部名古屋製造所板製造部長、2013年株式会社UACJ執行役員生産本部名古屋製造所長、2015年執行役員生産本部副本部長・福井製造所長、2017年取締役兼常務執行役員生産本部長、2018年代表取締役社長兼社長執行役員、2019年5月一般社団法人日本アルミニウム協会会長



廣澤 渉一氏

横浜国立大学 大学院工学研究院  
教授

▶講演概要

周期表の元素のうち8割が金属元素で、複数の金属元素を組み合わせた合金は、2元合金で4000種超、3元合金では13万種超にもなります。身の回りの金属製品がどのような元素からできているか、色や比重、導電率、磁性などを実測するとともに、ものつくりの観点から見た際の材料選択の考え方について学びます。

▶略 歴

1998年東京工業大学大学院博士課程修了。英国インペリアルカレッジ材料学科客員研究員、オックスフォード大学材料学科ポスドク研究員、東京工業大学助手、横浜国立大学准教授を経て2014年より教授。2017年より九州大学巨大ひずみマテリアル国際研究センター客員教授を兼任。専門はアルミニウム合金をはじめとする非鉄金属材料の微視的組織制御・解析、各種特性評価、計算材料学による機構解明。軽金属学会理事・編集委員長、日本金属学会代議員、自動車技術会材料部門委員会委員長などを歴任。

見学会場概要（株）UACJ 深谷製造所

- 深谷製造所は、1967年に、スカイアルミニウム（株）の板圧延工場として、営業運転を開始。以来、世界有数の設備と高い技術力・生産力を持つ、日本を代表するアルミニウム圧延工場として、各種のアルミニウム板材を製造してきました。
- 現在は、世界トップクラスの高精度厚板が主力製品で、半導体・液晶製造装置等に使用されています。
- 鋳造・圧延等の製造工程を見学後、若手技術者との交流会を行います。世界の先端産業を根幹で支える日本の素材産業への理解が深まり、皆さんの進路選択に大いに役立つものと思います。



①製造所空撮



②熱間圧延